



## 【 教務課より 】

### 「自分に合った勉強スタイルを」

穴見陽一（地歴公民）

早いもので、1学期が終わろうとしています。入学当初は、高校生活に戸惑いも多く、大変だったと思いますが、皆さん一人一人がよく頑張っていると思います。また、1学期には2回の定期考査が実施されましたが、総じてよく取り組んでいたと思います。

中には、思う通りの結果が出せなかった人もいるかもしれませんが、私にも、ほろ苦い思い出があります。中学校までとは違い、学習レベルがグーンと上がる高校では、毎日の予習・復習が欠かせず、自然と勉強の量も増えます。授業で内容を理解することが最も大切ですが、学習量が多くなった分、自宅学習の時間を一定確保する必要があります。そのためには時間の使い方を工夫し、学習の質を高めることが大切です。

学習の記録には、睡眠時間を削って、夜遅くまで勉強している様子があります。これは、お褒めできません。授業中の集中力を高めるためには、十分な睡眠時間をとることも必要です。見直しポイントとして、先に就寝時間を決めて、帰宅後から隙間時間を勉強に充てる工夫をしましょう。各自のライフ・サイクルに沿って、勉強能率を高め、小さな成功体験を積み重ねていくことが大切です。試行錯誤しながらも、成功の喜びを勉強の活力に変えてみませんか。「勉強は、難しい。だから、おもしろい。」最近、しみじみ思います。

## 【 進路課より 】

### 「夢を拓く夏休みの過ごし方」

西峯礼子（英語）

いよいよ夏休みが近づいてきました。1学期を忙しく過ごしてきた皆さんにとっては、初めてのまとまった休みになります。せっかくなら自分の将来に向けても、普段忙しくてなかなかできないことをやってみましょう。レベル別に3つ紹介します。

#### レベル① 本を5冊以上読む（朝読の継続）

気になる本や、自分の将来の夢に関係している本、小説、新書などいろんなジャンルの本を読みましょう。感想を書くこともおすすめです。読解力の向上や様々なことに興味を持つきっかけになります。

#### レベル② 新聞を読む

図書館には、何種類もの新聞が置いてあります。同じニュースでも書き方は違います。1面を飾っているのはどの話題なのか読み比べたり、社説を継続して読んだり、また、眺めていると思いがけず面白い話題に出会うこともあります。週に2回でも良いので継続して読んでみてください。2学期から本格的に始まるディベートの準備にもなります。

#### レベル③ ニュース番組を見る

私たちが学んでいる理由の一つには、今ある社会の問題の解決策を見出すことがあると思っています。そのためには社会にどのような問題があるかをまずは知っておかなければなりません。世界のニュースをまとめて放送しているBS1の「ワールドニュース」では、中東カタルの「アルジャジーラ」という放送局のニュースなどを同時通訳で見ることができて、面白いですよ。「クローズアップ現代」も時事問題がわかりやすくまとめられており、おすすめです。充実した夏休みを！

## 【 生徒部より 】

### 「 『考動』する夏休み 」

向家拓郎（数学）

1学期が終了しました。中学校の自分と比べて成長できたところはどこですか？些細なことでも良いです。成長した自分を見つけて褒めてください。自信というものは自分でつかむものです。

さて、夏休みです。自分で管理する時間が増えます。「考」えて「動」いてください。単なる行動ではなく、『考動』です。それができる人とできない人とは大きく差が出ると思いませんか？勉強においても、部活においても、友人関係においても。

例えば、スマホの使い方にも『考動』です。スマホは生活の中に浸透し便利で楽しいものです。だからこそ落とし穴が存在しています。君たちならば、どんな危険性が潜んでいるかは改めて説明をしなくても分かると思います。しかし、実際に高校生が被害者になったり、加害者になる事例が多く起きています。SNSで友人の写真を無断でUPしていませんか？その写真について軽々しいコメントをしていませんか？自分にはその気がなくても、見えないところで傷ついている友人がいるかもしれません。指先だけでやり取りできるからこそ、相手の顔が直接見えないからこそ、考えなければいけません。どの場面においても、しっかりと『考動』する夏休みにしよう。

## 【 学年より 】

### 「 夏休みのススメ 」

永尾健太（理科）

1組と3組しか授業に行かない私が、せっかくの機会をいただいたので、理科学的な話を好きなように書きたいと思います。一学期は皆さんにとって目まぐるしく生活が変化した日々であったことでしょう。夏休みを、生活の中に教科書での学びを発見する機会にしてほしいです。

私は理科という教科について、「見えているものを観る力」を養う教科だと思っています。（数学などでは見えないものを観る力が鍛えられますよね。）しかし、これは教科書や教室での実験ではなかなか身につけません。学んだ上で、興味関心を自然現象に向ける君らの目があって初めて見につくものです。お休みの日は家で家事を行う機会も増えるでしょう。例えば目玉焼きをつくる時にフライパンの上で白身があつという間に固まっていく様子を見て、なぜ先ほどまで流動性を持っていた卵が不可逆的に固化してしまうのか不思議に思うかもしれません。熱して固まるのなら冷やせば溶けるのでは？しかしそうはならない理由を、タンパク質の構造や性質について知っている君らは論理的に説明できるのです。その時今まで生きてきた中で培われた「当たり前」が覆り、新鮮な世界を知ります。勉強した人だけが知る世界です。今のうちに小さい頃の「なぜ？」を思い出してみる余裕を持ち、豊かになってほしいです。どの教科にもその先に新しい視点が存在していると思います。私はこれを教養だと思っています。いろいろな教科をゴリゴリ勉強する機会を持つ君らが羨ましい。以下に戦前の物理学者で随筆家の寺田寅彦が書いた「茶碗の湯」を抜粋します。空欄に適する文を考えてください。

「ここに茶碗が一つあります。中には熱い湯が一ぱいはいっております。ただそれだけでは何のおもしろみもなく不思議もないようですが、よく気を付けてみると、だんだんにいろいろの微細なことが目につき、さまざまの疑問が起こってくるはずですが。ただ一ぱいのこの湯でも、自然の現象を観察し研究することの好きな人には、なかなかおもしろい見物です。第一に、湯の面からは白い湯気が立っています。これはいうまでもなく（ ）です。

(中略) 次に、茶碗のお湯がだんだんに冷えるのは、湯の表面や茶碗の周囲から熱がにげるためだと思っています。もし表面にちゃんとふたでもしておけば、冷やされるのはおもにまわりの茶碗にふれた部分だけになります。そうなると、茶碗に接したところでは湯は冷えて重くなり、下の方へ流れて底の方へ向かって動きます。その反対に、茶碗のまんなかの方では逆に上の方へのぼって、表面からは外側に向かって流れる、だいたいそういう風な循環が起こります。」… (池内了編「科学と科学者のはなし 寺田寅彦エッセイ集」より)

## 【 学年より 】

### 「 同窓生よりお便り 」

高口知江 (理科)

1年生の皆さん、こんにちは！私は久留米高校の卒業生です。2年前転勤になり久しぶりに久高に足を踏み入れました。楽しいことばかりではなかったけど大好きだった母校は30数年前とほぼ変わっていませんでした。昔と変わらない校舎に古いロッカー (すごいまだ現役!)、久高バック (昔より大きくなったけど) に制服 (女子のスカートはハコヒダから憧れの可愛いプリーツになりましたが)、懐かしい校歌に生徒たちの笑い声やざわめきを聞き、校舎のあちらこちらで何気ない日常の様々なことを思い出しました。余談ですが、私の代の卒業記念品の和太鼓を体育祭の練習時に見つけてちょっと感動しました。

昨年度から新校舎の工事が始まりました。約60年間久高生を見守ってきた校舎が新しくなり、新たな久高の時代が始まります。少しさみしいですが、どんな学校になるのか楽しみです。

同窓生として後輩の皆さんに二つ高校時代にして欲しいことがあります。

まず、一つ目。高校生活を楽しむことです。

今コロナ禍で様々なことに制約がありますが、部活に勉強に高校生だからできるところにチャレンジして高校生活を楽しんで欲しいと思います。嫌なことや辛いこともあると思いますが自分の考え方、心の持ち方ひとつで気持ちが楽になることもあると思います。ぜひ充実した高校生活を送ってください。

二つ目。友達を作ってください。

高校の時一緒に悩み泣いて笑って喧嘩した友達は一生の宝物になります。私は自分の子供たちが高校生の頃「多くの友達がいなくても大丈夫。だれか一人自分をわかってくれる友達がいればいいよ」とよく話していました。ぜひ素敵な友達を見つけてください。

そして卒業した後「久高楽しかったな。」「久高でよかった。」って思ってもらえたら嬉しいです。

私をはじめたくさんの同窓生が後輩の皆さんが羽ばたくのを見守り応援していますよ。

**頑張れ久高生！！**

## 【クラス対抗大縄跳び大会が開催されました】

令和3年6月1日（火）ホームルーム活動にて



全員で協力してトライ！クラスの親睦が深まりました。

## 【7月・8月 夏期行事予定表】

7月16日（金）～21日（水）三者面談  
20日（火）終業式  
21日（水）～30日（金）集中講座  
8月18日（水）～20日（金）集中講座  
23日（月）始業式  
28日（土）久セミ

